

会議名	第 1 回宇部市産業振興計画推進委員会
日時	令和 7 年 5 月 3 0 日（金曜日） 9 時 3 0 分～ 1 1 時
場所	宇部市役所 3 階 防災情報センター
出席者 （敬称略）	委員 9 名（欠席 9 名） 事務局 7 名 （宇部市産業経済部 2 名、成長産業創出課 1 名、産業政策課 4 名）
会議資料	・ 第 1 回宇部市産業振興計画推進委員会 次第 ・ 資料 1 令和 7 年度第 1 回宇部市産業振興計画推進委員会資料 ・ 資料 2 宇部市産業振興計画推進委員会設置要綱 ・ 資料 3 産業振興計画指標 ・ 宇部市産業振興計画推進委員会 委員名簿 ・ 座席表 ・ ご意見アンケート
会議内容	
1. 宇部市産業振興計画推進委員会設置要綱の一部改正について 2. 重点施策の令和 6 年度の実績と令和 7 年度の取組について 3. 令和 7 年度委員会スケジュールについて	
主な議事内容	
議題（１）産業振興計画推進委員会設置要綱の一部改正について <<事務局より説明>> ⇒質疑・意見なし	
議題（２）重点施策の令和 6 年度の実績と令和 7 年度の取組について <<事務局より説明>> ⇒質疑・意見は以下のとおり	
・ 資料 3 のアウトプット、アウトカム、中長期アウトカム、インパクトの定義について説明してほしい。（委員） ⇒アウトプットは事業を進めるために何をするのか、アウトカムはそれに応じてどのような効果が単年的に出てくるのか、中長期アウトカムはアウトプットをすることによって出てくる中長期の効果、インパクトは最終的に目指すものと整理している。（事務局）	
・ 市の取組の発信方法について。SNS の活用が有効だと考えるが、宇部市ではどのようなツールで発信しているのか。（委員） ⇒SNS の活用は重要であり、市の取組や市と連携している方々の取組を発信していかないといけない。先日、関西万博において、世界各国から多くの人々が集まっている会場で、宇部市のメタバースときわ公園を中心に、市民、学生、市内企業、それぞれの活動を発表したところ。	
令和 6 度は、成長産業の取組として、山口大学と連携した再生医療等の取組を市民向けのシ	

ンポジウムという形で開催。SNS ではないが、会場とオンライン配信のハイブリット開催で実施するなど、様々な方法で情報発信に努めている。（事務局）

- ・情報発信において、専門的な言葉や難しい言葉を使わずに、SNS や映像を用いて市民がわかりやすい発信をすることが重要だ。（委員）

⇒起業コミュニティ（重点施策１）は、市内企業だけでなく大学生、高校生が参加し、市内企業を知る場としていきたい。学生間で情報を広がることも期待したい。（事務局）

重点施策１：成長産業の創出と育成について

- ・起業コミュニティにおいては、創業・起業に関する相談件数を増やし、起業につなげていくことが目的になると思うが、参加者が起業をしようとするためにどのような働きかけをするのか。（委員）

⇒起業コミュニティのキックオフイベントの開催に先だち、オンラインコミュニティを作り、情報発信を行える場を構築した。起業コミュニティのメンバーの意見を拾い上げていながらイベントを開催していくとともに、流動的に人材が入ってくる仕組みとするためにイベントを開催していきたい。起業コミュニティメンバーでのインターンシップも検討していきたい。（事務局）

⇒起業コミュニティに行くときどのような情報が得られるのか。ターゲットの人に届く情報発信があると参加者が増えると考える。起業コミュニティ内でのインターンシップについては、地元への就職は進むと思われるが、起業をする方を増やす取組について検討が必要だ。（委員）

- ・スタートアップ企業の資金調達サポートの伴走支援とは何か。（委員）

⇒スタートアップ企業支援事業では、これまで実証段階、研究開発段階、創業段階と起業するまでの支援がメインであった。これらに加えて企業の事業拡大期における資金調達に向けた支援なども始めたところであり、伴走支援として、創業から成長段階までの支援を行っている。企業から相談があった場合は、相談に応じて成長産業推進協議会やうべスタと連携して企業の問題や課題に対応していきたい。（事務局）

- ・起業コミュニティの登録状況と今後どのような方に登録を薦めていくのか。（委員）

⇒起業コミュニティは現在約 70 名の登録。学生の登録が少ないので、今後、学生の登録が増えるよう山口大学の協力も得ながら取り組んでいきたい。起業コミュニティのキックオフイベントには 40～50 名の参加をいただいた。市外から参加した企業もあり、市内企業とつなげていきたい。（事務局）

議題（３）令和 7 年度委員会スケジュールについて

≪事務局より説明≫

⇒質疑・意見は以下のとおり

- ・産業振興計画の見直しについては、専門部会でどのように検討していくのか。（委員）

⇒推進委員会では、第 2 回は現状整理のためのアンケート項目の整理を進めていきたい。第 2 回～第 3 回にかけて現状整理、その後第 4 回～第 5 回で目指すべき方向性を議論いただきたいと考えている。

宇部市産業振興計画を策定した当初に、現状整理のアンケート調査を行っている。当初から

これまでにどのような変化があるのかをデータ取得していきたい。それらをもとに、宇部市産業振興計画の見直しを産業振興推進委員会で議論していただきたい。専門部会ではさらに詳細なところを議論していただきたい。（事務局）

- ・実績評価をするときに、どれだけの予算を使い、どれだけの実績が出たかを知りたい。（委員）

（その他意見）

- ・施策の実績が市の活性化や産業振興にどうつながるかを示す指標や考え方があるとよい。

（委員）

⇒そのような観点も踏まえ、これからの産業振興計画推進委員会で指標の見直しなどの検討もしていきたい。（事務局）

- ・うべスタートアップ事業（重点施策1）で相談実績が半減した要因は何か。目標に達さなかった要因の分析が必要ではないか。（委員）

⇒相談件数は起業の相談数と経営についての相談数の合計値となっている。相談から起業までの準備期間は複数年になるケースもあり、R5年度は目標を上回っていることを考えると、年度により起業件数に波があることも要因の一つと考えられる。（事務局）

- ・キッチンカー（重点施策4）の出店の流れについて（委員）

⇒管理運営会社が募集をかけ、応募があった事業者を手配している。（事務局）

（重点施策3：産業を支える人材の確保・育成について）

- ・奨学金返還支援事業は、普通高校を対象に考えられているのではないかとと思うが、専門高校の視点でも考えてほしい。就職後離職した学生の支援があれば、宇部市にUターンする可能性が高くなると考える。例えば、住宅補助のように目に見える形のメリットがあれば、宇部市に帰ってくる可能性が高まるのではないか。（委員）

⇒移住定住推進課で移住に対する支援を行っている。そのような施策と連動することを検討していきたい。（事務局）

⇒離職した人が、支援を知っているかというところに課題があるのではないか。（委員）

（重点施策4：人が集う場や機会の創出について）

- ・若い世代が宇部市に住み、働きたいと思えるように、若い世代の意見を汲み上げて、施策を考え提供してほしい。（委員）

⇒宇部市産業振興計画においても、必要に応じて若い世代の意見も取り入れていきたい。（事務局）

その他 事務局からの事務連絡

アンケート意見

- ・（うべスタについて）起業コミュニティによる支援という説明があったが、具体的でない。起業コミュニティ構成企業や人材をどのようにして集め、支援手段としてどのようなことを行うのか計画が必要。また、今年から運営事業者が交替するので、支援実施内容を広く広報する必要がある。（委員）

- ・（Y-BASE について）Y-BASE の認知度がまだ低い。中小企業には是非利用してもらいたいので、見学ツアーを毎年数回実施すると良いと思う。宇部 brunch の利用方法は、まず Y-BASE で相談し、その後の指導を宇部 brunch で受けるというスキームをモデルとすると良いのではないか。（委員）
- ・重点施策 2 DX 研究会、補助金において、個社支援枠ではなくモデル枠を活用した企業の成果の波及効果、他社への影響はどのような状況か。（委員）
- ・重点施策 3 健康経営優良法人の認定について、「主だった企業は認定が完了した」、「まだまだ認定制度が浸透していない・知られていない」、「制度は知っているが認定を受ける利点を感じられず申請しない」のどれが多い印象か。また、制度認定が多様な人材採用につながっているのか。（委員）
- ・重点施策 4 各整備のスケジュール感、宿泊施設の開業時期、稼働部屋数などの見込み情報が必要機関に共有されているか。イベント誘致・開催など大規模なものは年単位で先の計画を行うことも多く、何年何月頃にどの程度の容量のものが供用開始予定など早めに分かったら、今は無理でも、今後の候補地としては検討できるものも出てくるのではないかと感じた。（委員）